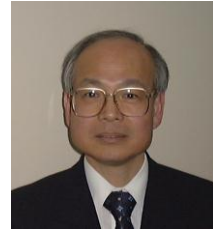


[氏名] 杉江 衛、1947年生

[現職] 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授

[職歴] 1975-84 日立製作所中央研究所研究員
1984-92 日立製作所中央研究所主任研究員
1992-99 日立製作所中央研究所部長
1999-2001 日立製作所研究開発本部企画室長
2001-2002 日立製作所システム開発研究所主管研究員
2002-2004 日立製作所中央研究所主管研究員
1982-83 米国カーネギーメロン大学客員研究員
1996-98 東北大学電気通信研究所非常勤講師
1999-2004 法政大学工学部非常勤講師
2002-2004 東京工業大学大学院非常勤講師
2007-2008 (株) Global Venture Industry Network Limited 取締役
2004-2010 東京大学生産技術研究所研究員
2010- 東京大学生産技術研究所特任研究員



[研究／マネジメント歴]

大学では非線形光学、日立製作所では光通信用ガラスファイバ、磁気バブルメモリ・サブシステム、カーナビゲーション・システム、並列推論マシン、超並列スーパーコンピュータ、ストレージ・システムの研究に従事。固体物性からシステムへと研究領域を変え、広範囲の分野で仕事をしてきました。256並列の推論マシン開発を経て超並列スーパーコン開発に係わり、2048並列の世界最速(当時)のマシンを世に出せたときは感激しました(勿論、多くの人々の力を結集した結果ですが)。1982年社費留学中に手がけたカーナビ研究では、合成音声による指示を導入するなどして、アイデアを盛り込める先行研究の楽しさを満喫しました。本社研究開発本部では、どこにリソースを投入するべきかに悩みましたが、iDC関連の研究テーマを立ち上げたことが思い出です。研究の楽しさと製品化の産みの苦しみ、更には研究開発のマネジメントを経験できたことが私の財産です。私の方法論の特徴は、状況に応じて実測データに基づいたり新理論を展開したりして、論理的にアプローチするところにあります。イノベーション・マネジメント研究科のプロジェクトに関しては、特に分野を限りません。

[学会] 電子情報通信学会

[社会的な活動] ACM (Association for Computing Machinery) 日本支部役員

[受賞] 電子通信学会学術奨励賞 (1980年3月)

[論文] “コールドキャッシュ状態にあるWebサーバの挙動解析”, 電子情報通信学論文誌, 2012。
“ディスクキャッシュにデータが未蓄積の初期状態サーバの挙動解析と評価”, 電子情報通信学論文誌, 2009。“ストレージフュージョン: ストレージシステムとデータベース管理システムの融合”, 情報処理学会誌, 2008。“Virtual Private Data Center (VPDC)”, The 8th IFIP/IEEE International Symposium on Integrated Network Management, 2003。

[学歴] 1970 東京大学工学部卒業、1975 工学博士 (東京大学)

[研究業績・社会活動等報告書]

1. 研究業績

- ①「コールドキャッシュ状態にある Web サーバの挙動解析」電子情報通信学会誌、J 9 5 - D 巻、1 2 号、2012 年 12 月、pp.1993-2007.
- ②「ディスクキャッシュにデータが未蓄積の初期状態サーバの挙動解析と評価」電子情報通信学会誌、J 9 2 - D 巻、1 1 号、2009 年 11 月、pp.1956-1973.
- ③「ストレージフュージョン: ストレージシステムとデータベース管理システムの融合」情報処理学会誌、2008 年 11 月、pp.1284-1289.

2. 社会活動

(1) 外部研究機関の研究員

- ①東京大学生産技術研究所特任研究員

(2) 外部の委員会

- ①-2009 年 3 月 (独) 科学技術振興機構 戦略的創造研究(CREST) 領域アドバイザー

(3) 外部の企業

- ①2007 年 1 月-2008 年 9 月 (株) Global Venture Industry Network Limited 取締役

3. コンサルティング、アドバイス業務

特になし

4. その他

特になし